

平成 25 年 9 月 台風 17 号による出水状況

～中筋川ダムが効果を発揮～

- 台風17号の接近に伴う降雨による、中筋川ダムへの急激な流入量の増加に伴い、下流河川も急激に水位上昇する可能性があったため、警報を行い安全を確認しました。
- 中筋川ダムに最大約106m³/sを貯め込み、中筋川ダム下流の磯ノ川地点で77cm水位を低下させ、はん濫注意水位程度に抑えることが出来ました。
- 現在建設中の横瀬川ダムがあった場合には、さらに35cm水位を下げる事が出来たと推定されます。

※はん濫注意水位とは、水防団が活動を行う目安となる水位です。
本資料の数値等は速報値であるため、今後変わる可能性があります。

平成 25 年 9 月 6 日

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所

電話 (0880) 66-0142

副所長 渡邊 健二 内線 (204)

管理課長 山下 正浩 内線 (6121)

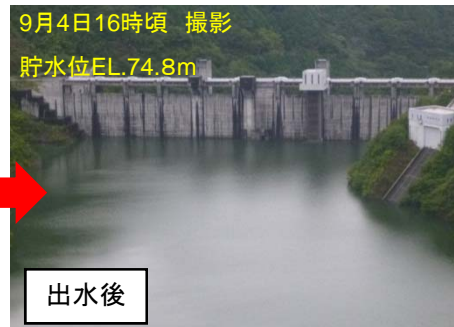
中筋川ダムの効果(平成25年9月4日台風17号)

- 台風17号の影響で、中筋川ダム流域では最大時間雨量64.1mm、累計雨量174.2mmの大雨となった。
中筋川ダムへの流入量は107.55m³/s(ピーク時)を記録したが、濁水による水位低下と洪水調節容量により、総量で1,757千m³(東京ドーム約1.4杯分)の水を貯め込むことが出来た。
- 中筋川の基準地点(磯ノ川)での最高水位は、はん濫注意水位5.50mを超える5.62m(207m³/s)を記録したが、中筋川ダムがなければ同地点の水位は6.39mまで上がったと推定され、**中筋川ダムの防災操作により77cmの水位を低下**させる効果を発揮した。
- 現在建設中の横瀬川ダムがあった場合は、さらに35cm水位を低下させ、はん濫注意水位以下に出来たと推定される。

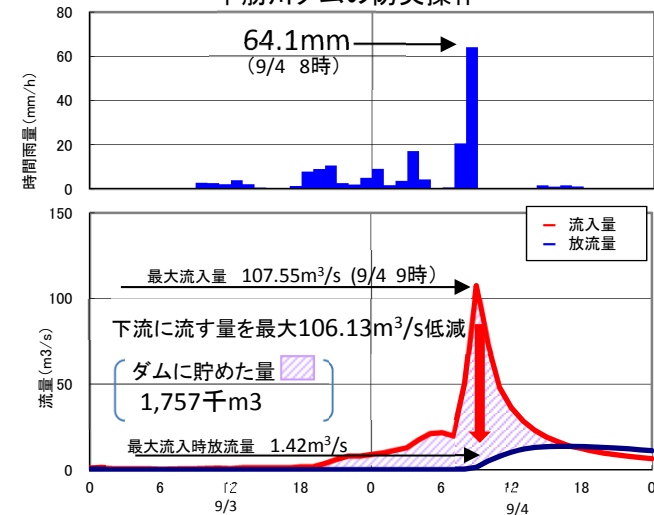
中筋川ダム位置図



【中筋川ダム貯水状況】



中筋川ダムの防災操作



速報値

磯ノ川地点における中筋川ダム防災操作効果

